

I C A N N 報 告 会

- 次回新 g T L D 申請募集 -

GMOブランドセキュリティ株式会社
マーケティング&サービスストラテジ本部
寺地 裕樹

2023/4/12

アジェンダ

1. ODAの結果について
2. ICANN理事会採択内容について

1. ODAの結果について

ODAの結果について

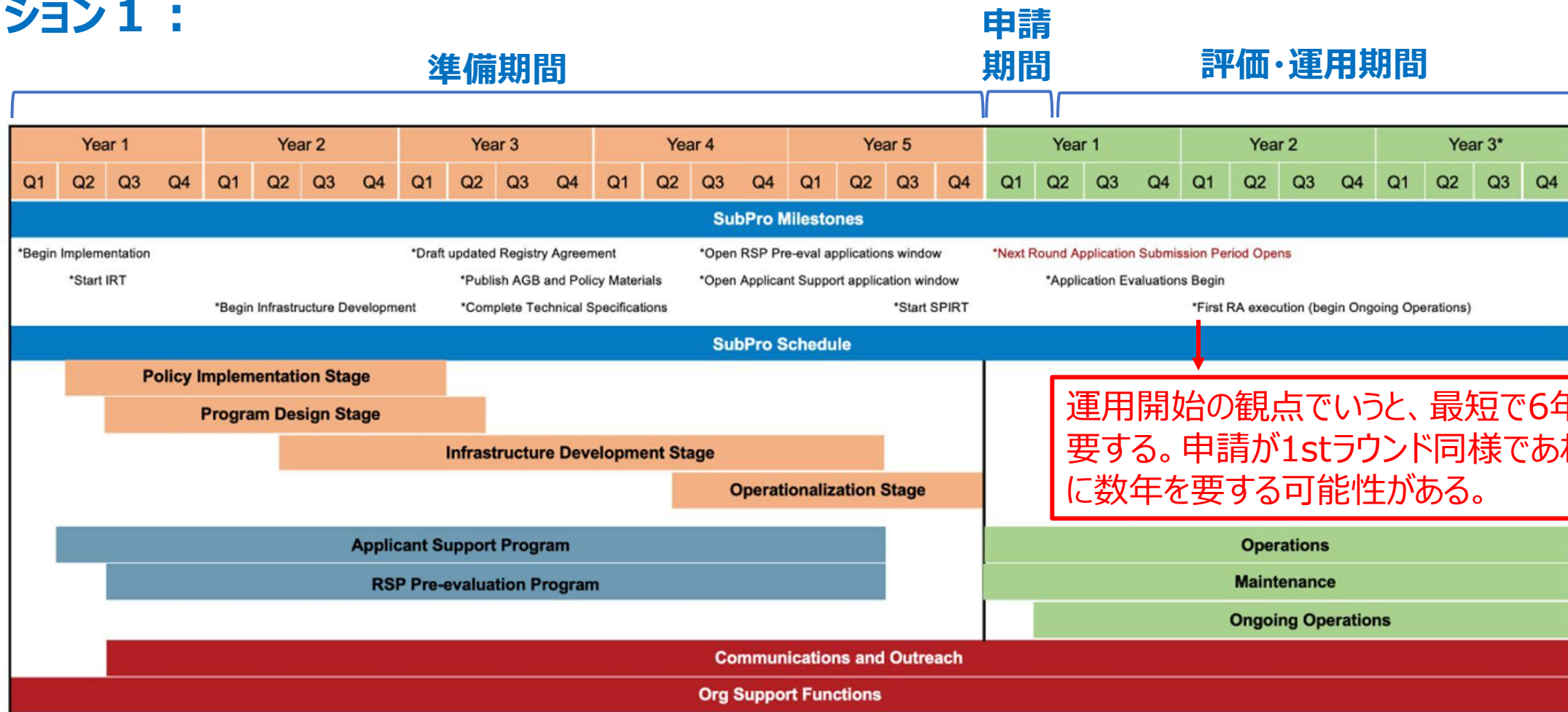
2022年12月12日に新gTLD次回申請募集（New gTLD Subsequent Procedures）のODA（Operational Design Assessment）の報告を公開しました。数か月の議論を経て、ICANN理事会は第76回ICANNカンクンミーティングにて新gTLDポリシー策定に関する採択を行いました。

ODAの検討内容は様々ありましたが、次回のラウンドを申請検討する方が気になる部分について、ご紹介します。

- 申請募集の方法について
- 申請実現に向けた今後の具体的な動き

ODAの結果について／申請募集の方法について

オプション1：



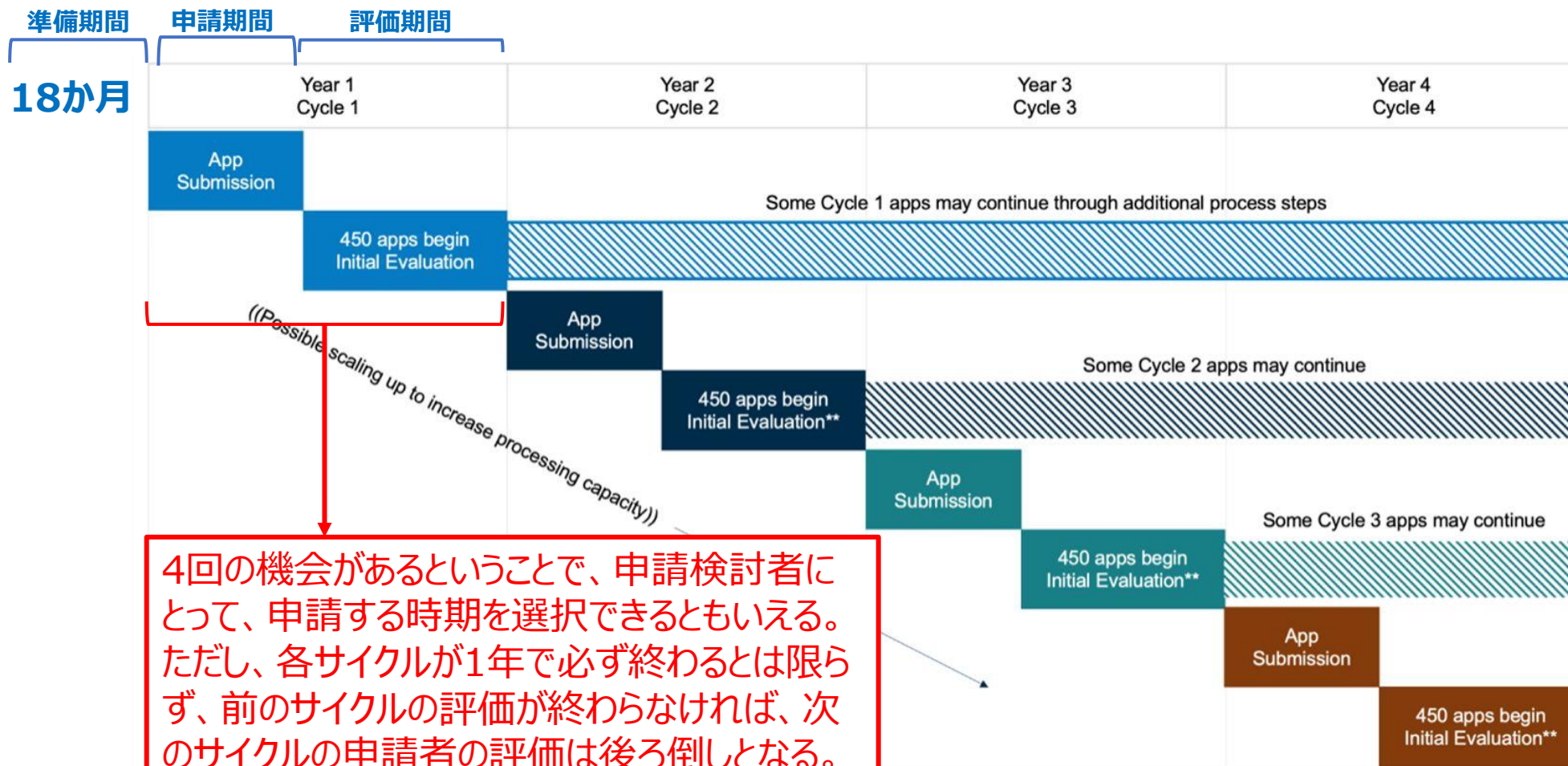
運用開始の観点でいうと、最短で6年数か月を要する。申請が1stラウンド同様であれば、さらに数年を要する可能性がある。

- ・準備期間:5年間
- ・申請料金:270K USD
- ・申請処理数:制限なし
- ・プログラム実施コスト：457M USD

ODAの結果について／申請募集の方法について

オプション2：

1年毎の申請数を限定し、評価等の運営を負荷分散。4年で一旦終了。



- ・実施期間:18ヶ月
- ・申請料金:240.6K USD
- ・申請処理数：制限あり。450件/サイクル
- ・プログラム実施コスト：407M USD

ODAの結果について／申請募集の方法について

比較表：

カテゴリ	オプション1：1回申請	オプション2：4サイクル申請(1年×4回)
最終的なスコープ	すべてを含む	スコープを少し修正
準備・開発期間	5年	18か月（1.5年）
システムと方法	完璧な拡張性のあるシステムを準備	スケールは少し小さく開始。申請の需要によって対応
内部プロセス	自動化	すべてが自動化ではない
リソース	実施時には人的リソースが必要だが、運用時には低い	実施時には人的リソースが低いが、運用時には高い
先行投資	\$125M	\$67M
全体コスト	\$457M	\$407M
申請者の申請費用	\$270K	\$240.6K
申請者の計画に対する予測可能性	応募ウィンドウが開くまでの待ち時間が長く、予測が難しい	応募ウィンドウが開くまでの待ち時間が短く、予測が容易
上限申請者数	制限なし	制限はないが、1サイクルの申請で450件を上限とする。
リスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 応募需要が不明で、初期投資が高い ● 5年間の実施スケジュールが地域社会からの要望に反する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 急ぎの実施スケジュールと手動プロセスが遅延やエラーの原因となる可能性がある

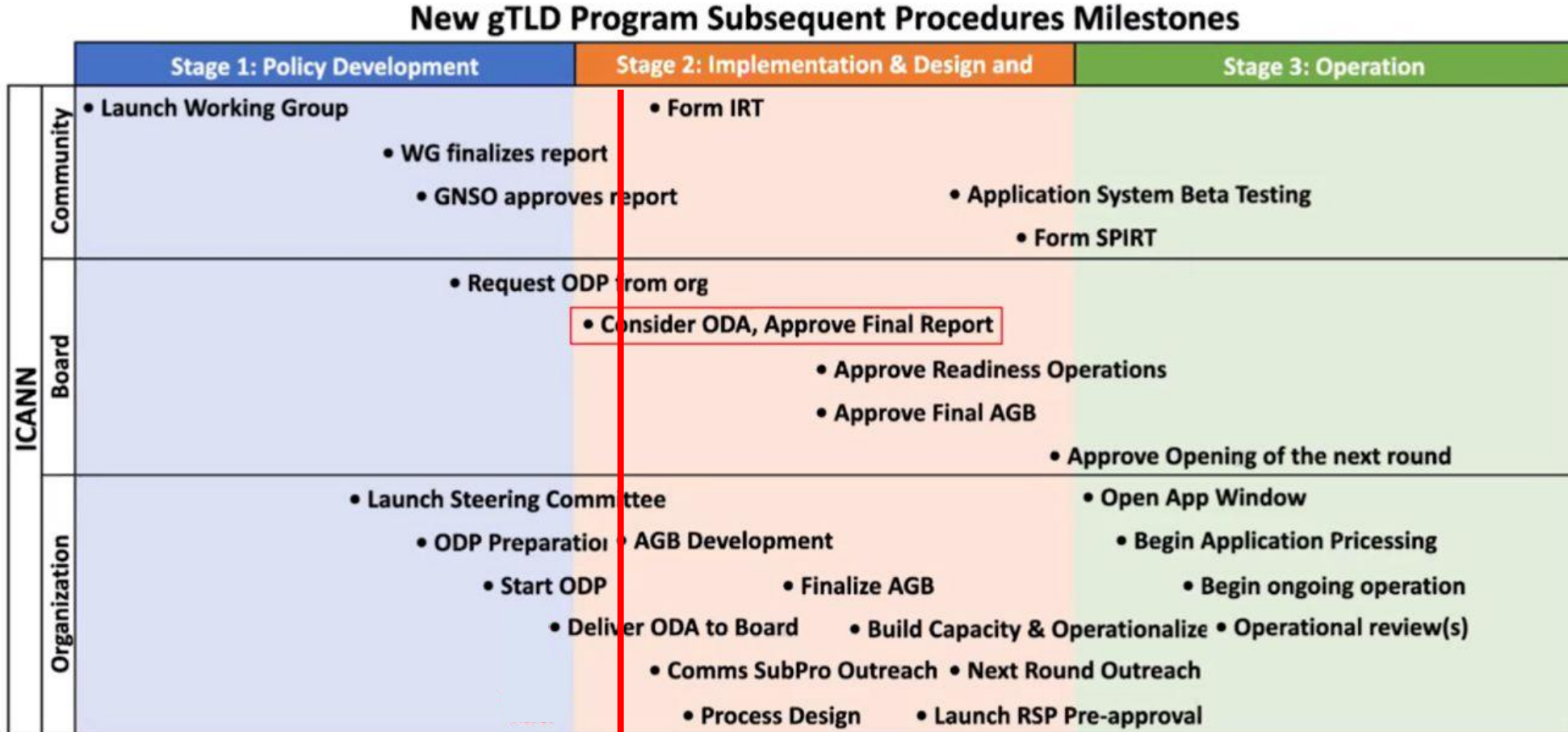
ODAの結果について／申請募集の方法について

今後の行方は？

ICANN理事会では、ODPチームが提案した先の2つのオプションを二者択一とするわけではなく、2つのオプションをミックスする折衷案の検討する余地があるそうです。

どのようになるかはまだ具体的ではありませんが、一番の関心事である想定準備期間は、2～3年となりそうな予感があります。

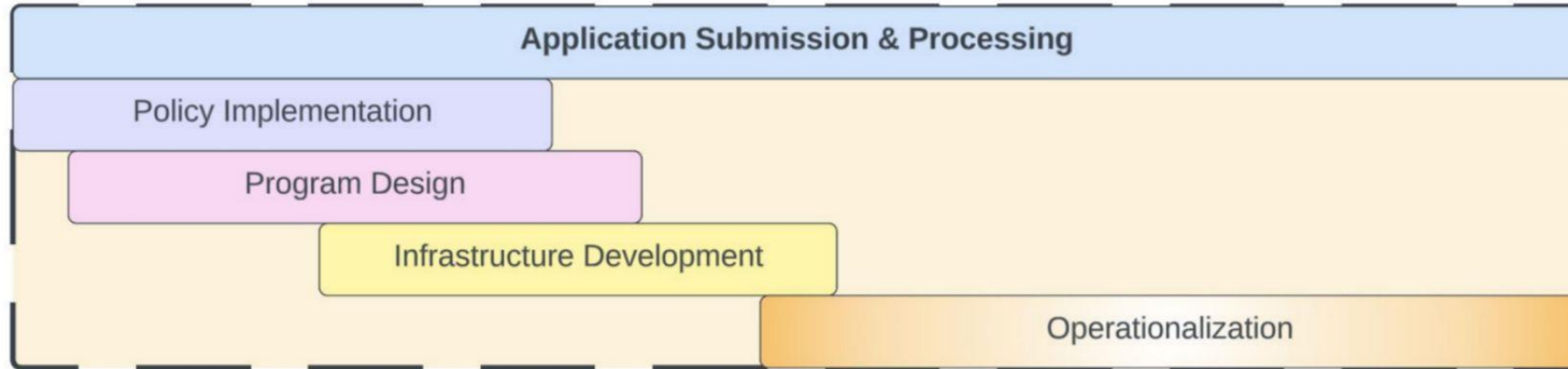
ODAの結果について／申請実現に向けた今後の具体的な動き



今ここ

ODAの結果について／申請実現に向けた今後の具体的な動き

申請実現に向けた準備・開発作業は、申請ガイドブックの内容・条項別にプロジェクト化して進めます。効率性を考えて、プロジェクトを並列に進めたり、時期をずらすなどすることを考えているようです。各プロジェクトは、以下の開発基準によって進めます。



Project Stages:	All work at the project level and above will include 4 stages. Each stage led by an SME team
Policy Implementation	Responsible for working with the IRT and developing policy materials (e.g. AGB) for the program
Program Design	Develop high level processes for the policy materials, work with other functions to set process requirements and expectations, create detailed process blueprints, develop specifications for system and tool development
Infrastructure Development	Develop systems and tools to support program processes. This will likely be heavily (60%+) IT focused development.
Operationalization	Put all processes, procedures, systems and tools together into a cohesive program, obtain and train operational resources, develop operational structure of org to deliver program

要件定義

設計

開発

運用準備

2. ICANN理事会採択内容について

ICANN理事会採択内容について／概要

ICANN理事会は、2023年3月16日、第76回ICANNカンクンミーティングにて新gTLDプログラムの第二回申請募集を実施することを決裁しました。

31個のトピックが採用となりました。
18個のトピックが継続審議となっています。

次ページより、申請募集にあたり特に関係するトピックについて、報告します。

ICANN理事会採択内容について／採択された内容

以下のレコメンデーショントピックは、ポリシー策定とODPの結果通りに採択されました。

Topic 2: Predictability

Topic 4: Different TLD Types

Topic 6: Registry Service Provider Pre-Evaluation

Topic 7: Metrics and Monitoring

Topic 8: Conflicts of Interest

Topic 11: Universal Acceptance

Topic 12: Applicant Guidebook

Topic 13: Communications

Topic 14: Systems

Topic 15: Application Fees

Topic 17: Applicant Support

Topic 18: Terms & Conditions

Topic 19: Application Queuing

Topic 20: Application Change Request

Topic 21: Reserved Names

Topic 21.1 - Work Track 5: Geographic Names (see Annex J of the Final Report)

Topic 22: Registrant Protection

Topic 24: String Similarity Evaluations

Topic 25: IDNs

Topic 26: Security and Stability

Topic 27: Applicant Reviews: Technical/Operational, Financial and Registry Services

Topic 28: Role of Application Comment

Topic 30: GAC Consensus Advice and GAC Early Warning

Topic 31: Objections

Topic 33: Dispute Resolution Procedures After Delegation

Topic 34: Community Applications

Topic 35: Auctions: Mechanisms of Last Resort / Private Resolution of Contention Sets

Topic 36: Base Registry Agreement

Topic 37: Registrar Non-Discrimination / Registry/Registrar Standardization

Topic 39: Registry System Testing

Topic 41: Contractual Compliance

参照 : <https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

ICANN理事会採択内容について／採択された内容

Topic 4: Different TLD Types

■ 申請者タイプ

- 1) 一般文字列
- 2) コミュニティベース
- 3) 地理的名称
- 4) ブランド ※明確に定義がされました。

■ 文字列タイプ

- 1) 地理的名称
- 2) 多言語 (例: 中国語、韓国語)
- 3) 異体字 (例: 簡体字と繁体字)
- 4) 制限的な文字 (消費者保護のため慎重にする文字列。例: .kid .game)

参照: <https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

ICANN理事会採択内容について／採択された内容

Topic 6: Registry Service Provider Pre-Evaluation

- レジストリサービスプロバイダは、申請募集に先立ち技術評価を受けることができ、この事前評価を通過した場合は、申請募集時の技術評価を省略することができる。

Topic 21: Reserved Names

- 2文字列のTLDやPTI(Public Technical Identifiers)は、予約語とする。

Topic 21.1: Work Track 5: Geographic Names

- ISO 3166-1に関わる文字列は予約語とする。
例) JP(2文字)、JPN(3文字)、JAPAN(国名)

参照 : <https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

ICANN理事会採択内容について／採択された内容

Topic 24: String Similarity Evaluations

- 類似文字列の評価は、SWORD以外のツールを利用して実施。文字列混同に関する異議申し立て期限は、審査結果公表後、30日以上の間は設けなければならない。

Topic 27: Applicant Reviews: Technical/Operational, Financial and Registry Services

- 財務面の評価は、世界25証券取引所に上がっている企業であれば、安定的な財務力を保有することの証明となる。技術的な面で安定性・セキュリティにおいて重大な問題を引き起こす必要がある場合は、RSEP(Registry Services Technical Evaluation Panel)の審査対象となる。

参照 : <https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

ICANN理事会採択内容について／継続審議

以下のレコメンデーショントピックに関してICANN理事会はまだ議論する予定。

レコメンデーショントピック	懸念点
Topic 3: Applications Assessed in Rounds	ODAによりICANNは申請募集のラウンドをどのように終了し、並行するラウンドによる両ラウンドの申請者への影響度を明確にする必要がある。
Topic 6: Registry Service Provider Pre-Evaluation	ICANNは実施プロセスの役割と責任に関する懸念点がある。その他に実施活動のガイドラインによりICANNは実施活動を担当する。RSP事前評価プログラムのコスト負担を明確にしたい。
Topic 9: Registry Voluntary Commitments / Public Interest Commitments	ICANNの定款によりPICs（公益保護コミットメント）とRVCs（レジストリ自発的なコミットメント）を強制することに関する懸念がある。単一登録者TLD（ブランドTLDなど）へのPICs免除によりDNS悪用の増加またはファーストラウンドTLDの契約覚書につながると懸念する。
Topic 16: Application Submission Period	理事会は12週～15週の申請期間は短すぎると懸念する。
Topic 17: Applicant Support	申請サポートとして申請書の作成費用と弁護士費用を負担すると受託者の懸念につながると考える。
Topic 18: Terms & Conditions	ICANNは申請ガイドブック対象外の理由により申請を拒否できないことに懸念ある。訴訟のリスクを考え、ICANNに対して訴訟をかけない誓約を強制させることができるか疑問点ある。申請ガイドブックの「実質的な変更」がありまたは申請者への「物質的な影響」がることにより申請書を取り下げの場合の返金に関する懸念ある。

参照：<https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

ICANN理事会採択内容について／継続審議

以下のレコメンデーショントピックに関してICANN理事会はまだ議論する予定。

レコメンデーショントピック	懸念点
Topic 19: Application Queuing	申請者をバッチ処理にする制度は将来のラウンドを限定させると考える。
Topic 22: Registrant Protections	ブランドTLDへの信用状条件の免除を与えることによりセキュリティリスクがあると考え。
Topic 24: String Similarity Evaluations	レコメンデーションの言葉遣いによりICANNが強制させることができない条件を必要とする と考える。
Topic 26: Security and Stability	レコメンデーションはICANNの定款の対象外となるため、修正が必要と考える。
Topic 29: Name Collisions	レコメンデーション採択前に名前衝突に関する分析プロジェクトのリリースが必要と考える。
Topic 30: GAC Consensus Advice and GAC Early Warning	レコメンデーション採択前にGNSOとGACと議論する必要がある。
Topic 31: Objections	レコメンデーション採択前にGNSOとGACと議論する必要がある。
Topic 32: Limited Challenge/Appeal Mechanism	ICANNまたは第三者プロバイダーによって行われた評価結果またはパネリストの利益相反に 関する異議申立メカニズムを作成できるか不明。または高額や申請プロセス延期の可能性ある
Topic 34: Community Applications	申請書の秘密情報を公開するリスクにつながると考える。
Topic 35: Auctions	レコメンデーションの内容により混乱が生じると考える。

参照：<https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

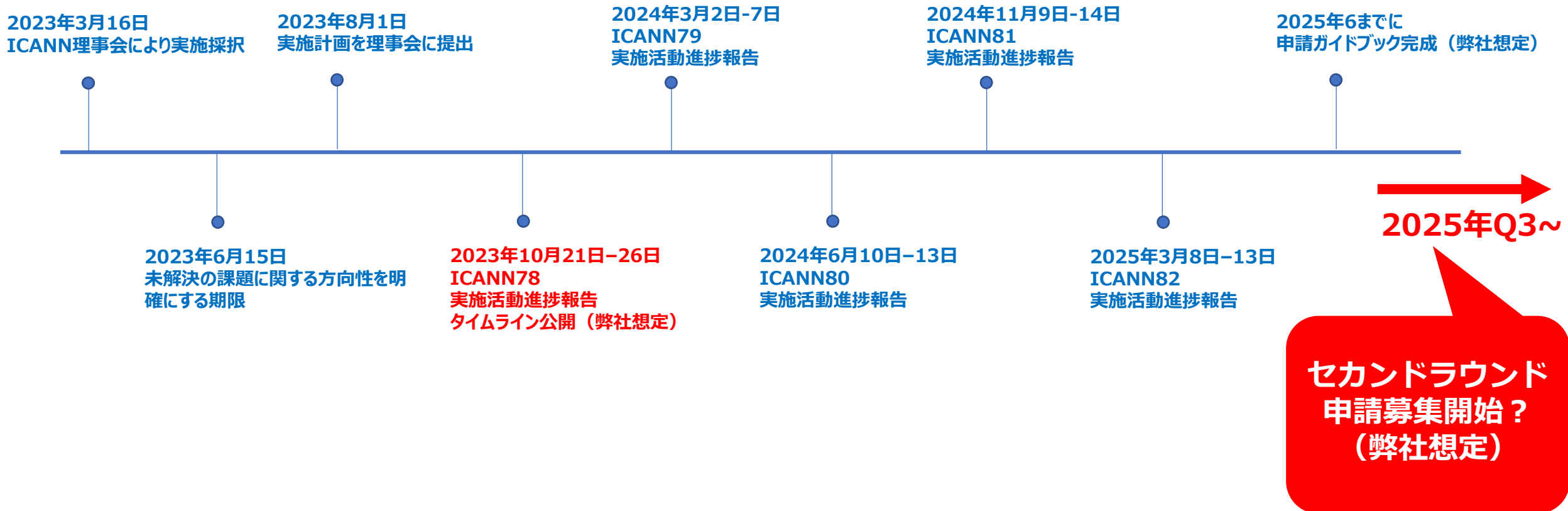
ICANN理事会採択内容について／継続審議

以下のレコメンデーショントピックは他のICANN活動に依存し、申請ガイドブックが完成する前に解決しなければなりません。

レコメンデーショントピック・課題	依存する活動	解決リードタイム
Topic 17: Applicant Support	申請サポートに関するGNSO Guidance Process。GGPは2023年12月までに終了する予定	申請ガイドブックの完成前
Topic 23: Closed Generics (例：赤十字が.disasterを取得するようなケース)	GNSO, GAC, ALACの間、Closed Genericに関する議論が行われている。	申請ガイドブックの完成前
ALAC Advice	申請募集及びDNS悪用に関するALACアドバイスを検討する必要がある	理事会採択後または申請ガイドブックの完成前
SSAC Advice	申請募集に関するアドバイス及び名前衝突分析プロジェクトに関するアドバイス	申請ガイドブックの完成前
DNS Abuse and NCAP2 (Collision)	DNS悪用に関する活動及び名前衝突分析プロジェクトに関するアドバイス	申請ガイドブックの完成前
IDN EPDP	多言語ドメインの迅速ポリシー策定を2025年4月までに完成させる	申請ガイドブックの完成前

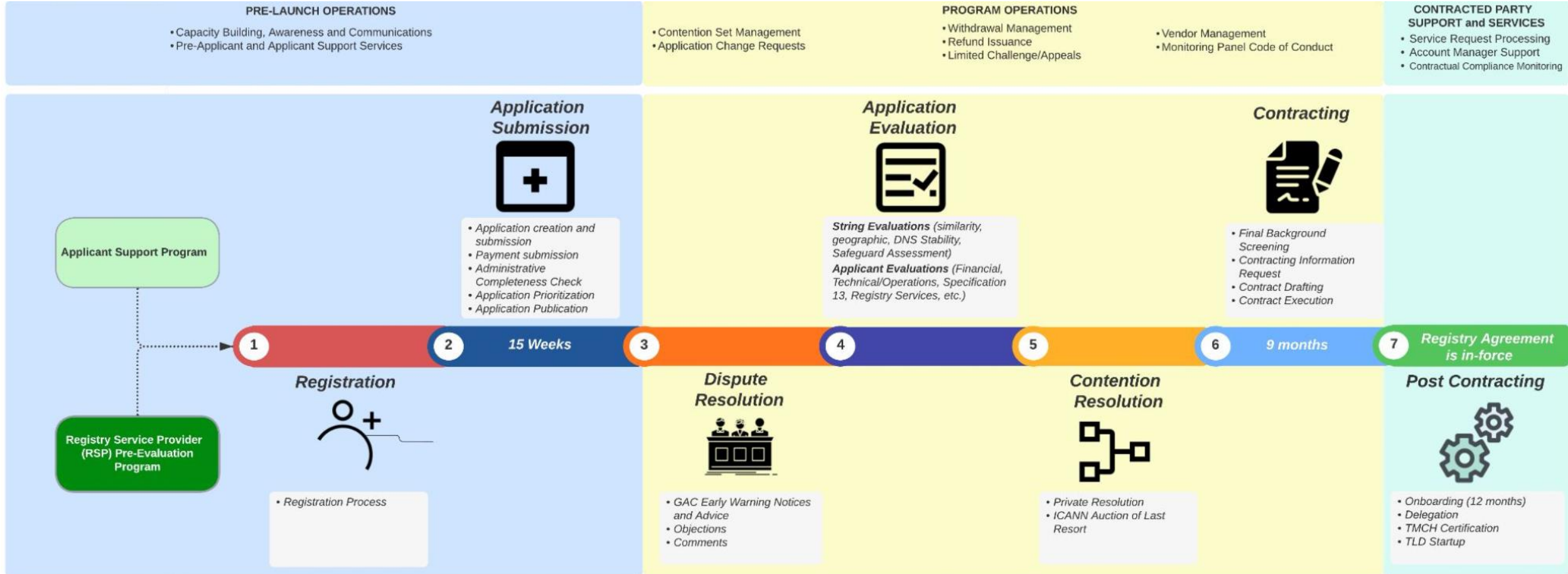
参照：<https://www.icann.org/en/system/files/files/scorecard-subpro-pdp-board-action-16mar23-en.pdf>

ICANN理事会採択内容について／タイムライン



APPENDIX 申請募集の流れについて

2ndラウンドに向けて/ビジネスプロセスのデザイン概要



ローンチ前のオペレーション：登録前

次のプログラムは、**gTLDの申請受付開始の18ヶ月前**に始まります。

Applicant Support Program

申請サポートプログラム（ASP）

- 金銭的な面、またはその他の無料のサポートを求める申請者のため
- 財務面の支援の必要性、財務能力、または公益目的に関わる審査
- サポート対象の申請者は、gTLD申請受付の6ヶ月前に通知される
- サポート対象外の申請者も、支援なしでgTLDを申請することは可能（前は申請不可だった。）

レジストリサービスプロバイダ（RSP）事前評価プログラム

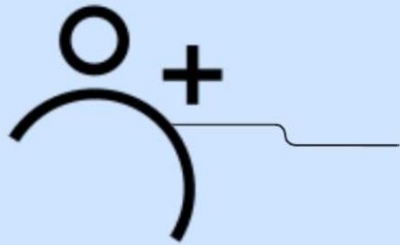
- 技術運用サポートを目的とする企業向け
- 別途申請料金が発生
- テクニカル評価及びTLDの委任前の事前テストが評価される
- 事前に承認されたRSPのリストは、申請受付の6ヶ月前に公開
- 事前に承認されたRSPを利用する申請者は、テクニカル評価が免除

Registry Service Provider
(RSP) Pre-Evaluation
Program

ローンチ前のオペレーション：登録手続き

1

Registration



- *Registration Process*

個人または法人がアカウント作成可能です。
個人の場合、レジストリオペレーターとしての申請はできません。

ローンチ前のオペレーション：申請受付

Application Submission



- Application creation and submission
- Payment submission
- Administrative Completeness Check
- Application Prioritization
- Application Publication

2

15 Weeks

- 1)申請受付期間は、15週間です。
申請の流れは、TLD種類（ブランドや地理的名称など）によって異なります。
- 2)アカウント毎に、複数の申請が可能です。
- 3)申請書提出後、支払いが発生します。
- 4)提出された申請書は、まず方式審査が行われます。
回答に漏れがないか、ファイルアップロード漏れがないか、など。
- 5)正確な申請書は、処理が優先されます。
多言語gTLDの申請が最優先となります。
- 6)公開対象の申請内容が掲載されます。
変更された内容は、随時アップデートされます。

プログラムオペレーション：紛争解決

3

Dispute Resolution



- GAC Early Warning Notices and Advice
- Objections
- Comments

申請内容公開後、紛争解決に関わる手続きが始まります。

申請書に対するコメントのルールは次の通りです。

- 誰でもコメントが可能
- 最初の60日間以内に投稿されたコメントは評価パネルに提出

以下の根拠に関わる異議申立を行うことが可能です。

- String Confusion（文字列混同）
- Legal Rights（法的権利）
- Limited Public Interest（公序良俗）
- Community Objection（コミュニティによる申立）

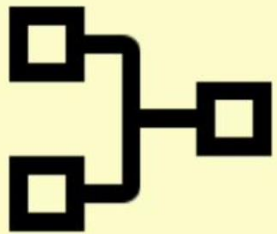
政府諮問委員会（GAC）は、申請文字列に対して早期に警告を通知することが可能です。

※GACによる早期警告は、GACアドバイスと異なり、各国政府の一つでも異論があれば発することができます。

プログラムオペレーション：競合の解決

5

Contention Resolution



- *Private Resolution*
- *ICANN Auction of Last Resort*

文字列類似性または異議申立の結果により、競合を解決するためのセット（コンテンションセット）に進みます。基本的に、コンテンションセットの中から文字列は1件のみ選択されます。

申請者間のコンテンションセットは、様々な解決が可能です。
（例：共同運営、プライベートオークションなど）

コミュニティの異議申し立てにより認められたコミュニティは、申請を継続することが可能です。

自主的に解決されないコンテンションセットは、ICANN主催によるオークション対象になります。

プログラムオペレーション：契約手続き

Contracting



- Final Background Screening
- Contracting Information Request
- Contract Drafting
- Contract Execution

6

9 months

申請者が契約を締結すると、レジストリオペレーターになることができます。

契約締結のために重要な3つの要件

- 申請者は全ての審査を通過しなければならない。
- 申請は、異議申立、説明責任のメカニズム、ICANN理事会によるアドバイス、または未完了の手続きの対象になっていないこと。
- コンテンションセット対象の場合、優先権保有を申請者が証明すること。

ICANNは、契約締結のために必要な情報を申請者より受領し、レジストリアグリーメントのドラフトを作成し、契約締結を行います。

プログラムオペレーション：契約締結後

7

*Registry Agreement
is in-force*

Post Contracting



- Onboarding (12 months)
- Delegation
- TMCH Certification
- TLD Startup

レジストリオペレーターとして運用するため、ICANNはレジストリオペレーターと以下を行います。

- オンボーディング：委任向けに全てのタスクを完了させる。
- 委任：申請文字列をgTLDとしてIANAルートゾーンに追加する。
- Trademark Clearinghouse (TMCH) と設定を行い、認証を済ませる。
- TLDのローンチプラン承認。

契約締結後、ICANNはレジストリオペレーターからレジストリサービスを変更するための変更リクエストを、レジストリサービス審査ポリシー (RSEP)で受け付けます。

契約コンプライアンス部門は、契約者の準拠条件を監視し、クレームを受付し、レジストリオペレーターと解決します。

GMO BRAND SECURITY

担当：寺地 裕樹 / Michael Flemming

メール：consul@brights.jp

T E L : 03-5784-1069

- 当資料の著作権は、GMOブランドセキュリティ株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。